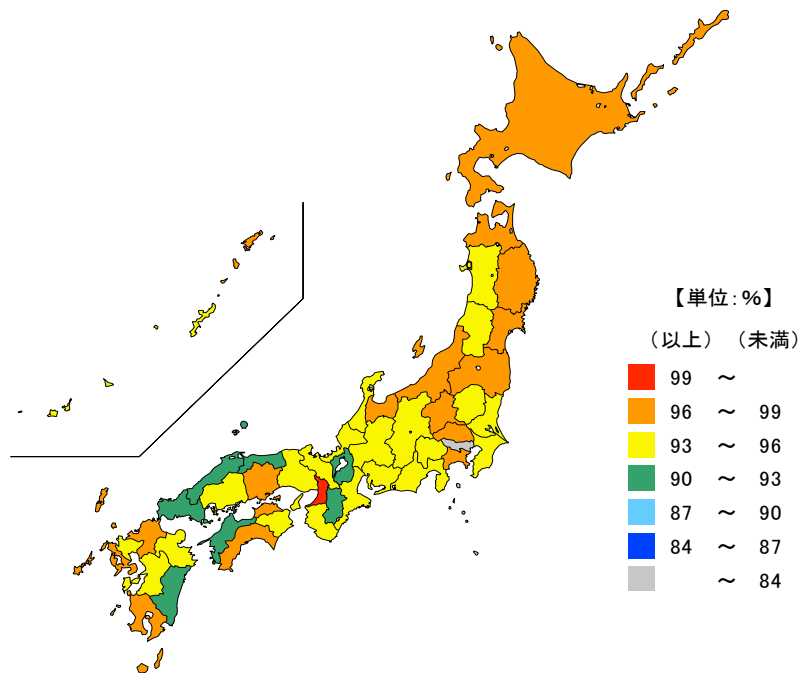


● 経常収支比率

平成30年度

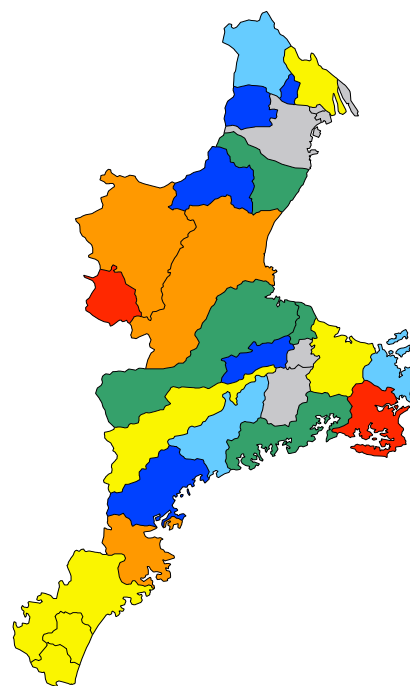
単位：％

都道府県	値	順位
平均	93.0	
大阪府	100.1	1
鹿児島県	98.2	2
長崎県	98.1	3
神奈川県	98.0	4
北海道	97.9	5
三重県	95.1	24
山口県	91.2	43
鳥取県	90.9	44
愛媛県	90.9	44
島根県	90.3	46
東京都	77.5	47



単位：％

市町	値	順位
名張市	99.7	1
志摩市	99.4	2
尾鷲市	98.2	3
伊賀市	97.3	4
津市	97.0	5
桑名市	95.5	6
紀宝町	94.6	7
御浜町	93.8	8
大台町	93.6	9
熊野市	93.5	10
伊勢市	93.4	11
明和町	92.7	12
鈴鹿市	92.6	13
南伊勢町	92.5	14
松阪市	90.6	15
鳥羽市	89.8	16
大紀町	89.5	17
いなべ市	87.7	18
菟野町	86.9	19
亀山市	86.5	20
東員町	86.1	21
多気町	85.0	22
紀北町	84.0	23
朝日町	81.2	24
度会町	81.2	24
木曾岬町	81.0	26
四日市市	74.4	27
玉城町	73.3	28
川越町	67.0	29
市町平均	89.5	



平成30年度の三重県の経常収支比率は95.1%で、全国順位は24位となっています。

県内市町の経常収支比率は、名張市、志摩市、尾鷲市の順に高くなっています。一方、川越町、玉城町、四日市市の1市2町が80%以下と低くなっています。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 経常収支比率とは、地方税、地方交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当されたものが占める割合。

財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。

都道府県の平均及び市町平均は、加重平均による。